

平成三十年愛知県支部秋の俳句大会成績

大会賞

一位 仏頭を戸板に売れり神の留守

林尉江

二位 秋日濃し骨董市の箱枕

野瀬ひろ

三位 ぼろ市や襦袍試着の車椅子

丸山節子

入選賞

襪褌市や柳行李に日本書紀

川島和子

何もかも吊す商ひ秋日濃し

中根由起子

石仏を買うてリュックに秋麗

上田博子

混り合ふ屋台の匂ひ秋暑し

矢野孝子

福助に似し骨董屋秋うらら

伊藤克江

寄席小屋の隣り指圧屋そぞろ寒

田辺満穂

観音へ道数多あり小鳥来る

伊藤紫都子

観音の鳩みな肥えて秋うらら

鈴木真理子

盛り場に残る古墳や秋深し

服部定子

秋水に浸けし白紙に弥陀浮かぶ

三浦葵水

